

(様式1)

自己評価票

作成日 平成 21年 7月 17日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870102647		
法人名	有限会社トゥルーケアステージ		
事業所名	グループホームメロン	ユニット名	2丁目
所在地	〒311-1113 水戸市平戸町舟渡380-1		
自己評価作成日	平成21年7月17日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	
-----------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成21年9月15日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

コミュニケーションを図る事が困難な入居者様も在籍していますが、行動や表情などから入居者の思いをくみ取るように心掛けています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念はありますが、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念になっていない為、職員会議等で話し合いを行い、新しい理念を作り、全職員で理念を共有し今後のケアに活かしたい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的にはなっていないので、事業所として何が出来るか考えて、地域に働きかけたい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の病気の理解を求めたり、色々な事に協力して頂けるように機会がある時にはご近所の方にお話をするようにしています。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議でその時の状況報告をさせて頂いています。会議の結果を朝礼・終礼・職員会議等で話をしてサービスの向上に繋がるように努めています。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議などを通して、市の担当者とお話をさせて頂いています。運営推進会議以外でも不明な事がある時には電話や市役所に出向き教えて頂く事もあります。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	車椅子座っていても動いて転落の危険性がある入居者様に対して、車椅子ベルトを使用してフロア内を自由に動いて頂いていた時期がありました。身体拘束になると聞いたので、現場で話し合いを行い、ベルトを外したケアを行っています。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日頃の何気ない会話が入居者様にとっては「虐待」と感じさせてはいけないので、会話をする時にも注意をしています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	事業所として学ぶ機会はありませんが、ご家族様や入居者様から相談があった際には情報収集を行い、必要に応じて活用して頂くようにしています。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は、契約書の文面通りに説明を行ったあとに、解りやすい言葉にして再度説明を行うようにしています。また、疑問や不安に思っている事は無いか確認しながら説明をしています。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	各階に意見箱の設置をしている為、面会にいらした際に意見箱への投書が出来ます。また、市町村の窓口や国保連の窓口がある事をお伝えしています。また、契約書にも記載があります。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見を事業所の管理者から伝えたり、本社の人間が事業所に出向き職員の話聞いて下さる機会があります。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の努力点や勤務状況など把握し個人考課の結果と照らし合わせて給与に反映されている。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月に1回全事業所の管理者を対象にした勉強会の開催の他に、職員対象に月1回勉強会を行っています。また、職員の経験年数や力量に応じて法人外の研修を受講しています。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム協会に加盟している為、交流する機会がある時には積極的に参加しています。しかし、職員が交流する機会が無い為、新たな取り組みを考えたい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の事前調査にて、何を困っているのか。不安な事は無いか。お話を伺うようにしています。施設での生活も楽しい事が色々ある事をお話すると、少し安心されるようです。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前はご家族様も不安に思う事が多くあるので、少しでも不安に思わないようにお話を聞かせて頂いています。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人がどの介護サービスを受ける事がふさわしいか入居の間合せを頂いた時から検討させて頂いています。他のサービスが必要と見極めた時には関係機関と相談をし、ご家族様に提案しています。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護をする側・介護を受ける側の線引きよりも、一緒に生活を過ごす人間同士の関係を築けるように日々努めています。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様が面会に来荘された時は、最近の入居者様の様子をお伝えしています。ご家族様の協力が無いと良いケアにはならないので、ご家族様とも信頼関係を築けるよう努めています。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者様とご家族様の関係が途切れないように面会のあまり来れないご家族様には毎月のお手紙を通して面会の呼びかけをしています。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う入居者様同士がお話を楽しまれている姿が見受けられます。お一人で過ごされる方が好きな入居者様もいますので、入居者の輪の中に無理に入れるのではなく、輪の中に入りたそうにしている時は職員が間に入るようにしています。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も必要に応じて、入居者様や、ご家族様のフォローをさせて頂いています。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話などから入居者様の思いや希望の把握に努めています。自ら訴えられない入居者様に対しては、本人本位に考えるようにしています。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴などは利用者個人票に記載してあるので、いつでも確認出来るようになっています。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様が日中・夜間どのように過ごされたかを朝礼や終礼の申し送りで把握する事が出来ます。また、業務日誌にも記載をしているので、朝礼や終礼に参加をしない職員も確認し把握する事が出来ます。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランの期間が終了する前には見直しをする為にカンファレンスを行っていますが、事前にご家族様からお話を伺っていないので、家族の意見が取り入れられていない。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録に日々の記録を記入しています。また、申し送りのノートを活用し、職員同士の情報交換を行い、カンファレンス時に活用しています。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者様を取り巻く環境は日々変化をするので、その時々にあったサービスの提供に精進しています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の活用の意味の理解をして、入居者にとって安全で豊かな生活を楽しめるように支援したい。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎月2回提携病院の往診を受けています。提携病院の往診の他の関係医療機関の診察を受けている入居者様もいますので、往診時に主治医に受診結果を報告して適切な医療を受けられるように支援しています。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションからの定期訪問を週に1回受けています。体調の変化や入居者様の状態を報告・相談をしています。また、受診をするべきか迷った時には指示を頂いています。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者様が入院をした時は、介護サマリーを作成し、医療機関に渡しています。また、入院中の医療機関に出向き、情報交換や退院後のアドバイスなどを相談させて頂いています。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医や訪問看護ステーションと連携を図りながら入居者様・ご家族様の希望を伺い、施設でどこまで支援出来るか話し合いを行っています。早い段階での意向を確認していない為、今後は早期に確認する必要があると思います。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員が緊急時の対応が出来ないので、関係機関の協力の下全職員が実践力が身に付くように対応したい。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な訓練を行っているが、全職員が参加していない。また、夜間帯の緊急対応は職員だけでは困難と思われるので、地域の方に協力が得られるように運営推進会議などで働きかけたい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	
			実施状況	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の一人ひとりに合わせた声掛けを行っています。時に大きな声になって会話をすることがあるので、注意したいと思います。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	意思疎通が図れる入居者様は自己決定をして頂くように支援しますが、自己決定が出来にくい入居者様は働きかけても困難な時があります。	
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員ペースとを感じる事が多くあるので、入居者様のペースに合わせてゆっくりケアを行いたいと思います。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に1度移動美容室の訪問があり、言える入居者様はお好きな髪型を伝えて切っています。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様と会話を楽しみながら同じ食事を食べています。準備や片付けは職員中心に行っていますが、食事の前には食事を楽しむようになるように会話を選んでいます。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量の把握をしています。水分の摂取量が少ない入居者様は個人的に水分摂取表を記入しています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	居室や洗面所にて毎食後口腔ケアを行っています。介助が必要な入居者様には職員が介助を行いますが、入居者様の力量に応じて見守りや誘導を行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄誘導の時間をある程度決めてトイレ誘導やおむつ交換を行っています。入居者様のペースや排泄パターンになっていないので、時間で行うのではなく、もう一度入居者様の排泄状況を把握して、今までと違う支援を行いたい。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因や影響は理解しているが、運動を嫌がる入居者・出来ない入居者様も居るので、みんなでの運動は行っていませんが個々の力量に応じて運動の声掛けを行い、便秘予防に努めている。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	いつでも入浴が出来る状況になっているが、入居者様からの入浴の希望があまり聞かれないので、職員の声掛けにて入浴して頂いています。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転にならないように日中の活動が多くなるように支援しています。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様が服用している薬の効能・副作用を各自調べ、薬の理解に努めています。薬が変更になった時は、その薬の服用前と服用後どのような変化があったかを確認して医師に伝えるようにしています。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様に張り合いのある生活を提供する事を心掛けているが現状日々の生活を過ごす事で精一杯になっている。個人レクなど取り入れて、楽しい生活が送れるように支援したい。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出の機会があまり無い為、入居者様の希望を聞き入れながら外出の回数を多くしたいと思います。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を持つ大切さは理解しているが、入居者様の力量を考えると現状困難な方が多く在籍している為、事業所で管理をしている。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>入居者様から「電話を掛けて欲しい。」との希望がある時には職員が電話を掛けてご家族様とお話ができるように対応している。また、ご家族様からお電話を頂いた時も同様に入居者様に電話をお繋ぎしてして会話を楽しんで頂いています。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有スペースの温度管理には気を付けています。職員は暑いと感じていても、入居者様が感じる温度で対応しています。また、多くはありませんが季節を感じられるように、フロア内も飾り付けを行っています。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有スペースで入居者様とお話を楽しまれている入居者様やお一人で過ごされている方、それぞれのペースで過ごされています。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居前やご家族様とお話をする機会がある時には使い慣れた物をお持ち下さるようにお話をさせて頂いています。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>手すりが廊下に設置してある事で、車椅子を使用していた入居者様が手すりに掴まり歩行する事が出来るようになりました。お一人で歩行すると転倒してしまう恐れがあるので、見守りをしています。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない